

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結） 平成16年1月30日

上場会社名 電気化学工業株式会社（コード番号：4061 東証第1部）  
 （URL <http://www.denka.co.jp>）  
 代表者 役職名：代表取締役社長 氏名：晝間 敏男  
 問合せ先責任者 役職名：取締役経理部長 氏名：南井 宏二 TEL(03)3507-5123

1. 四半期業績の概況の作成に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度：無  
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 売上高

	百万円	%
16年3月期第3四半期	187,361	
15年3月期第3四半期		
(参考)15年3月期	243,824	

(注) 1.売上高は、当該四半期までの累計値であります。

2.当連結会計年度より四半期業績の概況の開示を行っているため、前年同四半期の実績及び増減率は、記載しておりません。

セグメント別連結売上高

	16年3月期 第3四半期	(参考) 15年3月期
	百万円	百万円
樹脂・化成品事業	58,097	72,338
有機・無機化学品事業	26,825	34,757
機能・加工製品事業	58,737	77,950
セメント・建材事業	24,138	31,576
その他事業	19,563	27,202
全社計	187,361	243,824

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期までの国内経済は設備投資や輸出の増加、株価の上昇など、景気回復の傾向が現れましたが、9月以降の急激な円高の進行など楽観を許さぬ状況で推移しました。

樹脂・化成品事業では、スチレンモノマーや機能性樹脂などの輸出数量が中国他のアジア向けを中心に増加し、国内需要も総じて堅調に推移し増収となりました。

有機・無機化学品事業では、クロロブレンゴムの輸出は販売数量が増加しましたが、円高による手取減少により若干の減収となりました。肥料は、日本重化学工業株式会社から譲り受けた腐植酸苦土肥料“アツミン”他の販売を昨年7月に開始したことにより大幅な増収となりました。

機能・加工製品事業では、電子・機能材料や電子包材がIT関連需要の回復などにより好調に推移しました。また、樹脂加工製品では半導体固定粘着用“エレグリップテープ”や昨秋生産能力が増加したOPS（二軸延伸ポリスチレンシート）は順調に販売数量を伸ばしました。デンカポリマー株式会社はOPS加工品は順調に推移しましたが、その他の食品成形容器は需要が低迷し減収となりました。医薬他では、関節機能改善剤“スベニール”は、第二期増設工事に伴って生産を休止したため減収となりましたが、デンカ生研株式会社はインフルエンザワクチン及びインフルエンザ検査試薬とも順調に推移しました。

セメント・建材事業では、セメントの販売数量が増加いたしました。特殊混和材は総じて低調に推移しました。

この結果、連結売上高は1,873億61百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は、発生しておりません。

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

概ね計画通りに推移しており、平成15年11月10日発表の業績予想から修正しておりません。

以上